報道関係者各位

2026.11.04
那覇市
株式会社セブン-イレブン・沖縄
株式会社スマサポ
LINE ヤフーコミュニケーションズ株式会社
日本赤十字看護大学附属災害救護研究所

那覇市がセブン-イレブン・沖縄、スマサポ等と協働で、「LINE」を用いた避難訓練を実施

参加の輪が地域支援につながる仕組みを取り入れた「どんどんつながるゆいまーる避難訓練」

那覇市は株式会社セブン-イレブン・沖縄（那覇市、以下セブン-イレブン・沖縄）および株式会社スマサポ（東京都中央区、以下スマサポ）と連携し、コミュニケーションアプリ「LINE」（以下「LINE」）を活用した津波避難訓練「どんどんつながるゆいまーる避難訓練」を2026 年 11 月 5 日（木）～11 月 30 日（月）に実施します。本訓練はオンライン訓練と実地訓練を組み合わせたもので、これまでLINE ヤフーコミュニケーションズ株式会社および日本赤十字看護大学附属災害救護研究所の協力のもと構築してきた訓練内容を活用します。

本訓練は、那覇市 LINE 公式アカウントを使って津波発生時の避難行動を学び、実践できる訓練です。世界津波の日である 11 月 5 日には、参加者自身が那覇市 LINE 公式アカウントを実際に操作し、指定の避難場所まで向かう訓練を実施します。集合や長時間の参加を必要としない設計により、スマホ一つで「いつでも・どこでも・だれでも」参加できるのが特長です。

今年が 3 回目を迎えるこの訓練は新しい取組みとして「訓練への参加が、地域支援につながる」という共助の仕組みを実施します。具体的には、セブン-イレブン・沖縄は、参加者向け無料引換クーポンの利用実績に応じて寄付を行います。さらに本訓練の運営を担うスマサポも、訓練の参加人数に応じて寄付を行う予定です。集まった寄付金は、地域の防災支援に役立てるため、那覇市社会福祉協議会を通じて防災グッズの購入などに活用される予定です。

特設ページ：https://naha-bousai2026.com/



■ 「どんどんつながるゆいまーる避難訓練」実施概要

	オンライン避難訓練（津波に対する避難行動の学習）	津波避難訓練（避難場所まで実際に移動）
実施期間	2026年11月5日（木）～2026年11月30日（月）	2026年11月5日（木）
参加方法	特設ページからどなたでも参加可能 ※那覇市LINE公式アカウントの友だち追加が必要	特設ページからどなたでも参加可能 ※那覇市LINE公式アカウントの友だち追加が必要
実施時間	3分程度	5分～30分程度※参加者により異なります
参加特典	避難訓練に参加した人全員（※）にセブン-イレブン・沖縄で利用できる「セブンプレミアム」のカップラーメン3種類から、お好きな1品と引き換えられる無料引換クーポンをプレゼント	訓練対象施設のQRコードを読み取った方に、セブン-イレブン・沖縄で利用できる「セブンプレミアム」のカップラーメン3種類から、お好きな1品と引き換えられる無料引換クーポンをプレゼント
特設ページ	https://naha-bousai2026.com/	
避難訓練監修	日本赤十字看護大学附属災害救護研究所（https://jrcdmri.jp/）	
開催協力	日本赤十字社沖縄県支部（https://www.jrc.or.jp/chapter/okinawa/）	

※無料引換クーポンは予定数量に達し次第、配布を終了します。



■オンライン訓練の流れ

STEP1.津波発生時の避難行動や知識の学習

現在地を「屋内」または「屋外」から選択すると、状況に応じた最適なアクションが提示され、注意報・警報の種別や確認方法など、初動の要点を具体的に学べます。

STEP2.状況に合わせた避難場所の検索

津波避難場所検索では、位置情報を送るだけで半径 1km 以内の避難場所が自動表示され、確認できます。津波避難場所検索については第 24 回全国中学生創造ものづくり教育フェアの「プログラミングコンテスト 防災アプリ開発」で文部科学省大臣賞を受賞した幸地かれんさんのご意見を参考に機能強化しました。

STEP3.身近な人への避難行動の共有

避難行動を家族や友人と共有することで、①家族や友人が災害に気づかず逃げ遅れる、②「自分は大丈夫」と油断する、③安否確認のために危険区域へ入る、といったリスクを減らせます。本ステップでは「LINE」の友だちに訓練の参加をシェアすることで、災害時の情報共有を疑似体験することができます。受け取った人の意識向上にもつながり、訓練への参加の輪が広がることも期待されます。



■津波避難訓練の流れ

11月5日、那覇市 LINE 公式アカウントを活用し、任意の場所から指定の津波避難施設(※)まで実際に移動する訓練を実施します。避難場所までの経路や所要時間を確認し、津波発生時に迷わず行動できるようにすることが目的です。

※那覇市 LINE 公式アカウントに表示される避難先のうち、★マークが付いた約52施設が訓練対象です。

STEP1. 位置情報を送信し、避難場所を検索する

那覇市 LINE 公式アカウントで現在地を共有すると、近くの津波避難施設が表示されます。★マークが付いた訓練対象施設を選び、場所と移動経路を確認します。

STEP2. 安全に注意して、避難場所へ向かう

選んだ訓練対象施設へ実際に移動します。避難する際は、避難先や移動予定を家族や友人に共有することも大切です。

STEP3. ポスターを探し、QR コードを読み取る

対象施設に到着したら、本訓練用のポスターを探し、ポスターに表示された QR コードを読み取ると訓練完了です。

〈従来の避難訓練との比較〉

観点	従来の避難訓練	「どんどんつながるゆいまーる避難訓練」
いつでも	日時を決めて一斉に実施	「LINE」で24時間、短時間で体験可能
どこでも	学校や地域の指定場所で実施	自宅や職場など、生活の場から参加可能
だれでも	学校や地域を中心に、参加できる人が集まって実施 （場所や移動の不安から参加しづらい人もいる）	状況を問わず、誰でも参加しやすい

■参加の輪が地域支援に“どんどん“つながる「共助の仕組み」

令和6年度・令和7年度は、LINE を通して防災知識をわかりやすく伝え、市民の皆さまに避難行動を促す訓練を実施してきました。令和8年度は「自分を守る行動が、誰かを支える力に」をコンセプトに、これまでの取組みをさらに発展させ、訓練への参加が地域支援につながる「共助型」の防災訓練として実施します。災害時には、自分の命を守る「自助」だけでなく、高齢者や子どもなど、支援を必要とする人を地域全体で支え合う「共助」も欠かせません。本訓練では、防災知識や避難行動を学ぶことに加え、日常の中で地域支援にも参加できる仕組みを取り入れ、自助と共助を結び付けることを目指しています。

参加者は、訓練を通して防災知識や避難行動を学ぶとともに、無料クーポンの利用を通して地域支援にも参加できます。訓練への参加が増えるほど支援の輪も広がり、一人ひとりの行動が地域全体の防災力向上につながっていきます。

防災知識につながる、避難行動につながる、人から人へつながる、そして、地域支援へと“どんどん”つながっていく。沖縄の言葉で助け合いを表す「ゆいまーる」の精神を大切にし、参加と支援の輪を広げたいという思いを、訓練名称「どんどんつながるゆいまーる避難訓練」に込めました。